

校長室だより



豊川市立東部小学校

令和4年12月15日

新記録続出・マラソン大会

11月16日(火)～11月30日(水)のかけ足運動の期間を経て、その成果を確かめる場として12月1日(木)にマラソン大会を実施しました。大会当日は風が強くなり肌寒さを感じる天候でしたが、子どもたちはそれぞれに練習の成果を発揮し、最後まで力一杯走る様子が見られました。昨年度から新コースになり、今年度は9つの新記録が出ました。

大会で自分の力を発揮する過程では、自分の限界に近い力を出すことになります。子どもたちはその覚悟をしてスタートラインに立つのだと思います。そして、限界に近い状態を乗り越えてゴールできたときには、大きな達成感を感じるに違いありません。もっと上の順位をめざしていた子の中には、くやし涙を流す子もいます。このようにマラソン大会には、子どもたちの心を動かす要素がたくさん詰まっていると思っています。スタート前、「校長先生、マラソン大会なしにしませんか？」と笑顔で話しかけてくる高学年の女の子がいました。その子は、そう言いながら自分の気持ちと向き合い、乗り越えようとしているのでしょう。

今年度のマラソン大会も、子どもたちのいい顔をたくさん見ることができました。来年度以降も大事にしていきたい行事の1つです。

マラソン大会優勝者

1年 (800m)	男子	福田 壮茉	3分33秒
	女子	長谷川心美	3分40秒(新)
2年 (800m)	男子	鈴木 寛汰	3分11分(新)
	女子	牛山 結加	3分42秒
3年 (1000m)	男子	白井 有	4分01秒
	女子	中山 紗良	4分20秒
4年 (1000m)	男子	田代 昇平	3分46秒(新)
	女子	豊田 真央	4分02秒(新)
5年 (1200m)	男子	杉山 孝也	4分30秒(新)
	女子	鈴木 夢叶	4分59秒
6年 (1200m)	男子	小神 優斗	4分28秒
	女子	三谷 楓華	4分38秒(新)

その他の大会新記録

4年 (1000m)	女子	鈴木 琴	4分02秒(新)
		野崎菜々羽	4分08秒(新)
		伊藤 奏波	4分12秒(新)



校内作品展

例年は市内一斉に行っている作品展が各校での分散開催となったため、本校では2学期末懇談会の時期に、図工や書写、理科などの作品を展示しました。



私が特に足を止めてじっくりとみた作品は、夏休みの自由課題とした「科学にチャレンジ」です。進んで取り組んだものですから、どれも力作でした。1年生の辻えみかさんは「おおきなシャボンだまをつくる」をテーマにして、お家の人と一緒に実験をした結果をよくまとめていました。お家の人と一緒に取り組むことで、大きなシャボン玉の作り方を知るだけでなく、調べたいこと以外は条件を揃えること、表にして分かりやすく結果をまとめることなど、研究の基本を学ぶことができていました。他の子の研究も、その子なりの興味や疑問を題材にして、価値ある学習がされていると感じました。「進んで取り組む」ことの大切さに改めて気づかされました。

研究授業の様子から

2学期には全職員が一人一回、他の職員が参観する授業を行い、事前や事後には授業についての検討をする場を設けました。最終は3年1組の国語「モチモチの木」の授業でした。夜中に一人でトイレに行けない臆病な豆太が、大好きなじさまのために真夜中に医者を呼びに行く経験をします。その上で、豆太は結局「勇気があるのか」「臆病なのか」を考える授業でした。本文の叙述を根拠にして、「最後の場面でもじさまをしょんべんに起こしているから、臆病」「一人で行けるけど、じさまが好きだから起こしただけ」など、1時間を通して積極的に意見をかわらせる様子が見られました。

職員にとっても3学期はまとめの時期。今年度の成果と課題をまとめ、来年度に向かいます。

